

## 2017年度 生存学研究センター 研究プロジェクト公募要領

### 1. このプロジェクト公募の目的・性格

本研究センターにおける研究活動を促進させるために、「生存学」における2区分の研究テーマ「A: カタストロフィ/ヴァルネラビリティ」「B: 東アジア生存学拠点形成」に沿った研究プロジェクトチームに対し、プロジェクト研究に必要な研究資金の全額または一部を交付します。

それぞれの研究内容にもとづき、若手研究者研究強化を兼ねた大学院生のチーム参加必須とします。

なお、若手研究者「研究活動成果発信」に関わるものは、別プログラム(※)にて募集を行っております。そちらの概要を参照ください。(※) 2017年度若手研究者研究力強化型「国際的研究活動」研究費 前期募集が本申請と同期間にて公募中。

選考については申請書をもとに、生存学研究センター研究プロジェクト審査員がチーム単位での採択を決定します(チーム調整・減額採択含む)。

**注) 本プロジェクト公募については、2017年度の年間を通じて1回のみ募集形態となります。各位この機会を逃さないようご応募ください。**

### 募集内容

記入上の注意点	
チーム代表者の申請資格・構成	立命館大学生存学研究センター運営委員 *チーム代表者としての申請は、プロジェクトA・B通して1件限りとする。  *大学院生のチーム参加は必須とし、院生グループを組織する。また、大学院生については、1人1プロジェクトのみ参加を原則とするが、同一人物が複数のプロジェクトに参加する場合には、申請調書の所定欄を用いてその理由を記載すること。
助成対象経費	プロジェクトで行う研究活動経費(旅費・消耗品費等) * 研究に直接関係のない経費については、認めない場合もあり
申請・助成期限	申請期限: 2017年5月12日(金) 16時必着 執行期限: 2018年1月31日(水) 厳守
研究内容	[プロジェクトA: カタストロフィ/ヴァルネラビリティ][プロジェクトB: 東アジア生存学拠点形成]のどちらかの区分に該当する研究内容であること。
助成金額	1件につき25万円を上限とする全額またはその一部 採択数についてはプロジェクトA、Bあわせて、4件程度とする。
<b>【運営委員】</b> 立岩真也、美馬達哉、長瀬修、渡辺克典、上野千鶴子、大谷いづみ、小川さやか、岸政彦、栗原彬、小泉義之、齋藤龍一郎、桜井政成、サトウタツヤ、鎮目真人、千葉雅也、Paul Dumouchel、富永京子、中村正、西成彦、林達雄、松原洋子、村本邦子、望月茂徳、安田裕子、やまだようこ、渡辺公三	

### 2. 申請調書の記入について

- ① チームを単位とし、研究メンバーの人数は最低2名(研究代表者=センター運営委員1名・研究メンバー1名)でもよいが、着実な研究推進および生存学研究センターに貢献する研究成果発表が可能な体制であること。
- ② 研究メンバーは、以下の通り定義する。

**研究代表者** 生存学研究センター運営委員で、研究課題を統括し、研究計画の遂行、研究成果のとりまとめや公表、経費執行管理などすべての責任を持つ者。

**研究分担者** 生存学研究センター運営委員、本学専任教員、任期制教員（助教を含む）、特別任用教授、特命教授、特別契約教員、特別招聘教員、研究教員（特別招聘研究教員・招聘研究教員、研究教員、客員研究教員）、研究職員（専門研究員・研究員・補助研究員、リサーチアシスタント）、生存学研究センター所属の客員協力研究員、研究指導助手、博士課程院生（前後期）および一貫制博士課程1回生以上で研究計画の遂行にあたり研究代表者と共同して中心的な役割を果たし、研究成果公表にあたり実質的に参画する者、本学非常勤講師、本学に所属する日本学術振興会特別研究員。

なお、日本学術振興会特別研究員は、研究分担者として参加することはできるが、特別研究員における専念義務があるため、旅費以外の研究費の支援を受けることはできない。申請調書に記載する場合は、該当者の右肩にアスタリスク（\*）を付記すること。

### ③ 研究経費の使途

- ・ 旅費（国外・国内）、機器備品費、消耗品費、印刷・製本費など、研究計画の遂行に必要となる経費および研究成果の取りまとめに必要な経費を対象とする。
- ・ 執行は、本学規程に準じる。執行できる経費については、研究部作成の「研究費執行ガイドブック 2017年度版」を参照。（研究部HP：<http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/file2016/001/011/011-p01.pdf>）
- ・ 院生が研究費執行を申請する際には、必ず研究代表者（運営委員）の承認を得ること。
- ・

#### プロジェクト区分について(説明)

##### A: カタストロフィ／ヴァルネラビリティ

カタストロフィ的な状況と生存のヴァルネラビリティに関連するテーマを据えた研究会やシンポジウム開催、調査報告、講師招聘などの研究活動。

（※国外からの講師招聘については、「企画・イベント連携予算」への追加申請を認める）

##### B: 東アジア生存学拠点形成

東アジアの生存学拠点の創生を目的とした、アーカイビングや研究会・シンポジウム開催、国際研究交流や情報発信、講師招聘、各団体との連携にかかわる研究活動。

（※国外からの講師招聘については、「企画・イベント連携予算」への追加申請を認める）

### 3. 審査について

生存学研究センタープロジェクト審査員が審査し、採否を決定します。採否決定前に、研究内容を確認した上で、チームや採択額の調整を行う場合があります。採否結果は、5月下旬を目処に研究代表者および実務責任者に通知いたします。

### 4. 申請方法等

所定の申請様式に基づきデータにて申請してください。

**【申請期間】 2017年4月14日（金）～2017年5月12日（金）16時必着**

【提出先・お問い合わせ先】

生存学研究センター事務局 **E-mail: [ars-vive@st.ritsumei.ac.jp](mailto:ars-vive@st.ritsumei.ac.jp)**

TEL:075-465-8475、内線：511-2819（平日9:00～17:30）FAX:075-465-8245

以上